

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	201 寺田市民館事業経費	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	03	同和行政費
基本施策	39 部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	目	02	隣保館費
		細目	213	隣保館事業経費
行革大綱の重点事項番号		7	細々目	53 寺田市民館事業経費
担当部課	コード	70600	担当者氏名	高崎義昭
	名称	人権生活環境部 寺田市民館		連絡先

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	地域住民・館職員	※対象件数
成果(どうする)	講座への参加や健康相談等を通じて、健康の維持増進や交流が深まる。人権を主題とする催事への参加や市民館の利用を通じて、互いの交流が深まる。	
根拠法令・要綱等	三重県隣保館事業費補助金交付要綱	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	1 血圧測定、体脂肪測定等の健康相談と手芸・園芸教室等を同時開催し、健康の保持・増進を図った。 2 市民館だよりを月1回発行し、市民館行事の周知と人権・同和問題の啓発を行った。 3 文化祭や各種教室・講座を開催し、教養・文化や人権意識を高めるとともに、交流を通して確かな人権感覚が養えた。 4 館活動の実践交流と情報交換を行い、職員のスキルアップを図る研修をおこなった。	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	直営
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	市内各市民館

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
健康相談・健康づくりの会参加者数(1回あたり)	人	目標	25	25	25	25
		実績	17	17		
文化祭・各種教室参加者数(延べ) H19実績より児童対象の珠算、習字教室除いた指標に変更	人	目標	1500	700	730	750
		実績	700	713		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
1回分の参加者数地域の65歳以上の住民の割合	参加者増が介護予防の指標	%	目標	20	20	20	20
			実績	13.1	17.6		
毎月開催の3教室の参加者増	参加者増が教養・文化の振興の指標	人	目標	10	10	10	10
			実績	8	3		

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計(A)	1,228	835	1,217	1,217
Aの財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	553	405	448
	地方債			
	その他	39	35	35
	一般財源	636	395	734
事業投入人件費(B)	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600
フルコスト(A)+(B)	4,828	4,435	4,817	4,817

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 60%以上80%未満 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	どのような講座、教室を望んでいるのかニーズを把握し、参加者増を図る。
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】	○
	受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	参加意識と参加意欲を高め地域の社会教育力を培い、交流から確かな人権感覚を養い、もって人権問題の解決に結びつけたい。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 市民館だよりの催事案内を充実させると共に、地区内をはじめ、関係団体への協力依頼を実施した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	高崎義昭
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 寺田文化祭の参加者をはじめ館の利用者は、全体的に増加傾向にあり、地区民の人権・文化・福祉の向上に対して一定の成果を上げている。また、他地区からの教室・講座・健康づくりへの参加者も増加しており、交流を通じた人権感覚の向上・拡大も推進されている。このため、事業実施を継続したい。
現時点における課題、その他	地区内の高齢者が増加しており、健康相談などの件数が増加している。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	健康づくりの会への参加働きかけを、直接聞き取りや地域関係団体の協力を得ながら強化していきたい。22年度中にアンケート調査を実施する。